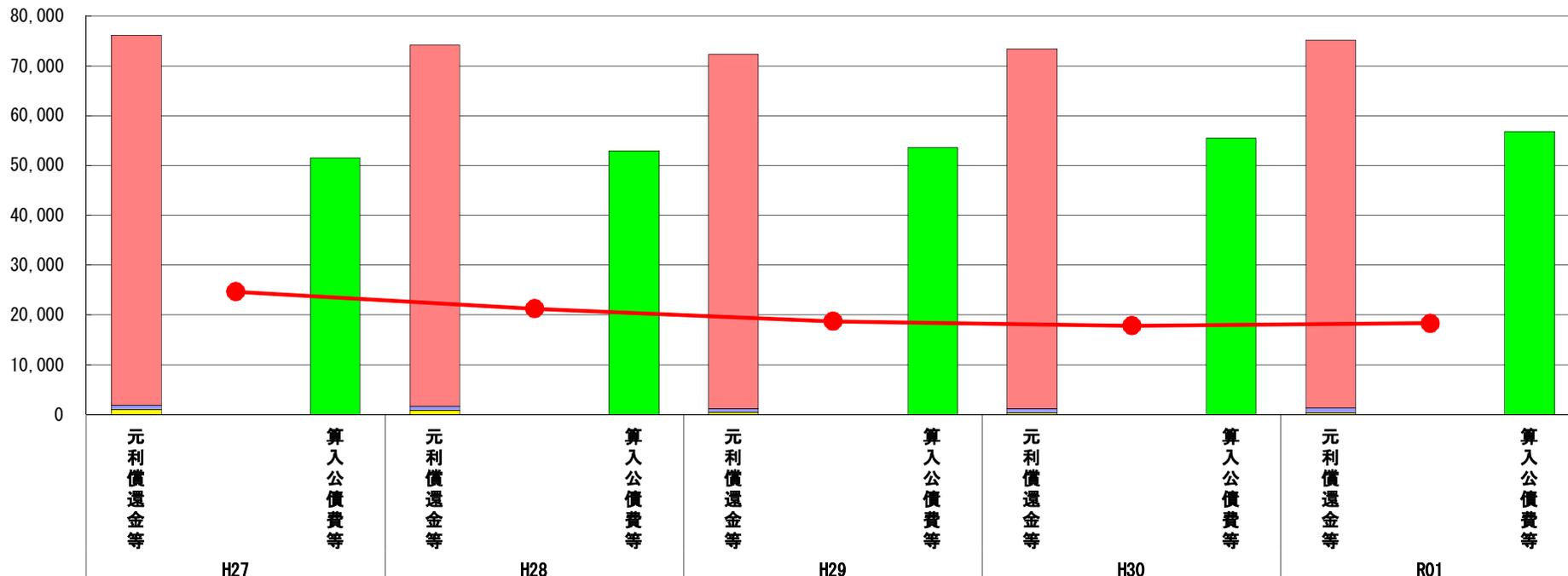


(9) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

令和元年度

和歌山県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H27	H28	H29	H30	R01
元利償還金等(A)	元利償還金		74,295	72,587	71,110	72,129	73,816
	減債基金積立不足算定額※		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		865	776	781	906	995
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		933	836	454	320	317
	一時借入金の利子		8	6	2	1	1
算入公債費等(B)	算入公債費等		51,444	52,947	53,621	55,501	56,789
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		24,657	21,258	18,726	17,855	18,340

分析欄

3か年平均の実質公債費比率は、借入金利率の低下に伴う公債費の減少により下降傾向である一方、実質公債費比率の分子については、前年度に比べて5億円増加となった。今後は、交付税措置のない地方債の償還が本格化し、公債費は増加していくと考えられるため、引き続き行政改革推進債等の発行を抑制するなど、公債費負担の軽減に努めていく。

(参考)

(百万円)

※ 減債基金積立状況等		年度	H26末	H27末	H28末	H29末	H30末
	減債基金残高(注)		-	-	-	-	-
	減債基金積立相当額		-	-	-	-	-

分析欄

満期一括償還の起債を行っていないため、積立はない。

(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。